

事業概要について

(加納副委員長) では私も済みません、初めての委員会ですので、私も幾つか資料をいただきたいということだけお伝えさせていただきます。

まず、機構及び事務分担のところの3ページ。資料としていただきたいのは、建築局に関係する外郭団体の一覧、そしてその外郭団体の中身がわかるようなもの。業務内容だとか、それから、人事だとか役員だとかといったことがわかるものをできたら教えていただきたい。ということで、この3ページに書いてあります横浜市住宅供給公社派遣、それから、財団法人横浜市建築助成公社派遣がありますよね。これが何か兼ねているものの位置づけというものについて、改めて局長のほうから教えていただきたい。

(鈴木建築局長) これらの団体につきましては、当市の施策と密接に関係があるということで、現役の職員を派遣しているところでございます。

(加納副委員長) 外郭団体という位置づけでよろしいのでしょうか。

(鈴木建築局長) そのとおりでございます。

(加納副委員長) ではひとつ、お願いした資料のほうはよろしくお願いいたします。

それから次に、この主要事業の概要について、幾つか教えてください。

まず、3ページの特定建築物の耐震化ですけれども、この「22年度は」という黒字のところですね、「新たに対象を加え」というのですけれども、これはどのぐらいの対象数なのか。

(鈴木建築局長) 約1,300ほどでございます。

(加納副委員長) 次に、6ページの地域子育て応援マンションの実績がどうなのかというのを教えていただけますか。

(鈴木建築局長) 3施設ほど認定しています。

(加納副委員長) 今後はどういう形になるのかということも教えてください。

(鈴木建築局長) 今後また、市民等に周知もさせていただきながら、少しでも実績がふえていくように頑張りたいと思います。

(加納副委員長) ありがとうございます。

次に、平成22年度の建築部の運営方針について教えてください。

先ほど井上委員からありましたように、この指標というところが私は気になりまして、こういうところが提示されている以上、実績はやはり私もしっかりといただきたい。ということで、私からもお願いしたいと思います。特にこの4ページの3番の一番最後、市営住宅の管理の適正化というところの、この指標のところ、当選後の辞退者の20%減少についてどういう意味なのか、そして過去3年間どのような実績だったのかということをお教えください。

(鈴木建築局長) 内容は、せっかく当選されても辞退をされる方が結構いらっちゃったということで、今年度から募集のやり方を少し工夫いたしまして、少しでも辞退が出ないように、選択の仕方を少しエリアを狭めるとか、そういう形で工夫してきたところでございます。そういうことによって辞退者を少しでも減らす。我々の目標としては2割ぐらい何とか減らしていければということで考えているところでございます。

過去の数字については、ちょっと今手元にございません。

(加納副委員長) おおむねどのぐらいあるものなのですか。過去の例えば5年間とか、しっかり数字として、後で資料としていただきたいのですけれども、おおむねどのぐらいのパーセンテージなのですか。今、局長がおっしゃった当選したにもかかわらず辞退するというのは、大変もったいないというか、入居できないでもう10年も待っていらっしゃる方とか、私の知っている方でも実は18回とか、申し込んでいるわけですけれども、そういう

人からすると当たったのに何でという、こういったことは非常にもう悲しい、さびしいということで、非常に怒り心頭という人たちもいるので、こういったせっかく当たったにもかかわらず入らないという、これを一生懸命今回からやっていただいたのでしょけれども、おおむねどのぐらいの割合でいるのですか。

（鈴木建築局長） おおむねということで申し上げますと、当選された方の約3割が辞退されているという状況です。

（加納副委員長） きょうは初委員会ですから、では資料としてひとつ、過去の実績をいただきたい。よろしくお願いたします。

（鈴木建築局長） 先ほど特定建築物の対象の数を約1,300ということで申し上げましたが、約1,010ということで訂正させていただきます。